仕　様　書

１．件名

液体シンチレーションカウンター用サンプル調整装置の賃貸借

２．数量

一式

３．使用目的

放射性廃棄物共通技術調査等委託費「放射性核種生物圏移行高度化調査」では、環境試料中の放射性核種の挙動を明らかにするための調査・研究を行っている。この研究において環境試料中の ^{14}C を測定するが,土壌や植物等の試料は燃焼させ、液体シンチレーションカウンターで測定できるように調整できる装置が必要不可欠である。

４．賃貸借期間

平成 24 年 1 月 6 日～平成 27 年 1 月 5 日

５．設置場所

放射線医学総合研究所 RI 棟　実験-18

６．装置構成

液体シンチレーションカウンター用サンプル調整装置　１式

７．仕様・性能

液体シンチレーションカウンター用サンプル調整装置　本体

①土壌・植物などの有機物質を簡単に手早く $^{3}H_2O$ と $^{14}CO_2$ に酸化し、これらを測定用に完全に分離できること。

②二重標識サンプルの分析が行えること。

③装置の性能を完全に引き出すための試薬が販売されていること。

④1.5g までの試料を燃焼することができること。

⑤試料を溶解する必要がないこと。

８．その他

1）搬入、据付、配管、配線、調整等について

①搬入、据付、配管、配線等に必要な二次側の配管・配線等については、納入業者の責により行うこと。

②設置後、機器の性能が完全に発揮できるよう調整、検査を行うこと。

③設置にあたっては、本研究所担当者の指示に従うこと。

④賃貸借期間満了後、RI 除染を行い、本装置一式を搬出すること。

⑤搬出にあたっては、本研究所放射線安全課の指導に従うこと。

2）保守体制および運用支援体制について

①設置後、本研究所職員に対し、装置の使用に係る教育を行うこと。

②日本国内において、技術的相談に速やかに応じる等、技術支援体制が整備されていること。

③障害が発生した場合に、速やかに障害への対応を開始できるよう、保守体制が取られていること。

④検収後 1 年以内に製品の欠陥により障害が発生した場合、障害部位の交換もしくは修理を無償にて行うこと。

3）提出図書

①日本語及び英語の取扱説明書を各 1 部提出すること。

4）その他

本仕様書の内容について疑義が生じた場合、または本仕様書に規定のない事項については、別途担当者と協議の上決定するものとする。

所属部課名　放射線防護研究センター
廃棄物技術開発研究チーム
所属長氏名　内田　滋夫
使用者氏名　石井　伸昌